



2018年
5月08日
No.A18-01

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

【会員限定】

中東調査会月刊活動誌 (2018年4月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップミーティング

・4月25日(水)、松島浩道・農林水産審議官
「日本農業の課題と国際化への対応」(於:ホテルオークラ)。



<要旨>

現在の日本が抱える食糧問題、また世界的な人口増加などによる食糧不足の懸念について、各種のデータに基づき、外国との貿易や輸出入の関係の強化、技術革新等を通じた日本の農業発展の展望といった観点から話された。

(2) 講演会

4月25日(水)、高岡豊上席研究員「最新シリア情勢の背景と展望」(於:AP丸の内東京)。



<要旨>

アメリカ・イギリス・フランスによるシリア攻撃後の情勢推移や化学兵器使用疑惑、シリア紛争に関与する主体(アサド政権、「反体制派」、諸外国)のパワーバランス、紛争の今後の展望について説明した。会場からは、「反体制派」の実態について多数の質問がでた。

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行(会員限定)

- ・2018年4月号(2018年5月1日付)
- 1. アルジェリア:FLN 幹事長がブーテフリカ大統領の再選を支持
- 2. イラクのアーバーディー首相らの訪日
- 3. シリア:アメリカなどが攻撃を実施
- 4. トルコ: 大統領選挙と総選挙実施の前倒し

(2) イスラーム過激派モニター (会員限定)

・No.1「「イスラーム国」の報道官が演説を発表」(4月24日)

・No.2「ターリバーンが2018年の攻勢開始を宣言」(4月25日)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/)

(3) 中東かわら版の発行

・No.1「パレスチナ・イスラエル：ガザ境界での衝突が激化」(中島主席研究員、4月2日)

・No.2「エジプト：大統領選挙でシーシー大統領再選(公式結果)」(金谷研究員、4月3日)

・No.3「パレスチナ・イスラエル：ガザ境界での衝突(2)」(中島主席研究員、4月9日)

・No.4「エジプト：スーダンでルネッサンスダムをめぐる閣僚級会合実施」(西館研究員、4月10日)

・No.5「シリア：「化学兵器使用」問題」(高岡上席研究員、4月10日)

・No.6「シリア：アメリカ、フランス、イギリスが攻撃を実施」(高岡上席研究員、4月14日)

・No.7「イラク：経済の課題」(高岡上席研究員、4月16日)

・No.8「イスラエル：シリア国内のイラン施設を攻撃か」(中島主席研究員、4月18日)

・No.9「トルコ：大統領選挙と総選挙実施の前倒し」(金子研究員、4月24日)

※内容はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

3. その他

(1) 要人往来

・4月4日(木)、安倍首相は訪日中のレジェップ・アクダー・トルコ共和国副首相の表敬を受けた。日本側は戦略的パートナーとしての協力関係を政治、経済、文化などあらゆる分野で一層発展させたい旨伝えた。トルコ側は防災面を含め二国間関係の強化の希望を伝えた。両者は北朝鮮、シリア情勢について意見交換を行った。

・4月5日(金)安倍首相は訪日中のハイダル・アバーディー・イラク共和国首相と首脳会談を行った。インフラ整備などのイラク復興等が議題となった。北朝鮮、中東を含む国際情勢につき意見交換が行われた。またイラクに対する上水道整備及び灌漑整備等のための円借款に関する書簡が交換された。同日、河野外相もイブラヒーム・ジャアファリー・イラク共和国外務大臣と会談した。

・4月25日(水)、河野外相は「シリア及び地域の将来の支援に関するブリュッセル会合」の折、サアド・ハリリー・レバノン共和国首相を表敬した。会談では両国関係の発展、またレバノンがパレスチナ難民やシリア情勢から受ける影響、日本の対レバノン人道支援が議題となった。レバノン側は、経済面での関係強化等をした旨伝えた。

・4月25日(水)、河野外相はモハンマド・ジャヴァード・ザリーフ・イラン・イスラム共和国外務大臣と会談した。日本側は核合意への支持と、その遵守に貢献していくと表明した。また、核合意を基に二国間関係を発展させたい旨等を伝えた。両者は核合意を巡る状況、北朝鮮問題等について意見交換した。

・4月28日(土)、河野外相はアブドゥラー2世・イブン・フセイン国王陛下を拝謁した。日本側はアカバ・プロセス会合の開催に感謝を表明した。また、テロ対策での協力、両国の友好

関係の深化、ヨルダンへの支援の意向を伝えた。また両者は「平和と繁栄の回廊」構想を含む中東情勢、北朝鮮情勢等について協議した。

また4月29日(日)、河野外相は「平和と繁栄の回廊」構想第6回四者閣僚級会合を主催した。ファーフリー・ヨルダン計画・国際協力大臣、コーヘン・イスラエル経済産業大臣、マリーキー・パレスチナ外務庁長官が出席した。ジェリコ農産加工団地(JAIP)の進展等が議題になった。

・4月29日(日)から30日(月)にかけて安倍首相はUAEを訪問、日UAEビジネス・フォーラムに参加した。日本側はエネルギー分野、インフラ、文化、教育、宇宙開発を含む先端技術分野に関する協力の希望を伝えた。また日本産食品のプロモーションを進めていく旨伝えた。

また安倍首相はムハンマド・アブダビ皇太子と会談した。双方はエネルギー・経済に加え、政治、防衛、教育、農業、最先端技術等の広範な分野で、両国の戦略的パートナーシップをさらに強固にしていくことで一致した。

・4月29日(日)、安倍首相はイスラエルを訪問し、ベンヤミン・ネタニヤフ首相と会談した。両者は安全保障上の課題、経済的な関係の発展について協議し、今後は政治・安全保障面も含めて戦略的な協力を深化させていくことを確認した。また、新たに外務・防衛当局間協議を立ち上げることで一致した。日本側は、昨年設置された「日イスラエル・イノベーション・ネットワーク(JIIN)」を踏まえ、今後、若手起業家のイスラエル派遣、サイバー、イノベーション、バイオ等の先端分野のセミナーやマッチング等を推進予定である旨述べた。その他、サイバー面での協力強化、中東和平、北朝鮮問題が議題となった。